

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

2010 年度 (平成 22 年度) 総会 議事録

1. 招集日 : 2010 年 5 月 12 日 (水)
2. 開催日時 : 2010 年 5 月 31 日 (月) 14:15~15:15
3. 場 所 : 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405 号室  
(大阪市北区茶屋町 19-19 アブローズタワー14 階)
4. 総正会員数 : 71 名
5. 出席者数 : 33 名 (正会員 31 名、他 1 名)  
(内訳) 出席した正会員数 21 名  
委任状出席者数 9 名  
事務局 3 名 (うち正会員 2 名)

6. 議長の選任

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) の総会において、上記の通りのものが出席した。

定刻に至り、司会者 (事務局) は、本日の総会は、正会員の 3 分の 1 の出席 (定款第 24 条) があったので、有効に成立した旨を告げ、特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) 2010 年度 (平成 22 年度) 総会の開会を宣言した。

議長を選出すべく、全員で互選したところ、河田理事長が選ばれ、本人はこれを承諾し、議長席に着いた。

続いて、議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

7. 議 事

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告の件

議長は、本案について付議された旨を述べ、これを全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 2 号議案 平成 21 年度決算報告の件

議長は、本案について付議された旨を述べ、これを全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 3 号議案 平成 22 年度事業計画の件

議長は、本案について付議された旨を述べ、これを全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 4 号議案 平成 22 年度予算の件

議長は、本案について付議された旨を述べ、これを全員に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

なお、資料の表題が「2009 年 (平成 21 年度) 事業予算」と謝った標記になっているので、これを「2010 年 (平成 22 年度) 事業予算」に訂正する。

8. その他

(1) 第 3 号議案について

- 1) 第 13 回大規模災害対策現地勉強会 (津波対策 in 三陸沿岸) について

①視察地点について

- ・ 大規模津波対策施設（津波防波堤、防潮水門）に焦点を絞り視察する。
- ・ 大船渡、釜石、久慈の津波防波堤をメインとし、途中、津軽石川水門（宮古市）、小本川津波水門（岩泉町）、田老町津波防潮堤（田老町）等を視察する。

②調整時期について

- ・ 9月下旬を開催日とし、できるだけ早く行程計画を確定し、開催案内を送付する。

2) メルマガの発刊について

- ・ テーマを設定し、4回構成を基本とする。
- ・ 関西大学の学生を対象に、「津波に関して何が知りたいか？」のアンケートを採り、その結果がまとまった。テーマ設定に関しては、それを参考とする。
- ・ 配信対象者を絞る。（最初は漁業関係者とし、「津波による養殖筏や係留船舶への影響と被害」をテーマとする）

(理事会での意見)

- ・ 漁業関係者へのメルマガ配信に関しては、水産庁に協力を要請し、配信先を登録してもらうよう交渉する。
- ・ 上記方針の下で、島田編集委員長を中心とした編集委員で調整する。

3) 分科会の立ち上げについて

- ・ BCP（企業存続計画、事業継続計画）をテーマとし、三重県、三重大、関西大との共同研究として取り組む方向で調整を諮る。
- ・ ある程度の方向性を示せる段階で分科会参加希望者を募る。

(理事会での意見)

- ・ 分科会のリーダーは関西大／社会安全学部／高野一彦准教授を候補者とする（まずはCDR入会を打診する）

以 上

文責：事務局 吉田  
平成22年6月1日